

人間の認知・心理特性を解明し、学びを支援する

研究 概要

キーワード 学習支援／経験からの学び／学習の自己調整／メタ認知／教育実践

知識社会に備えるために、教育機関(学校教育、学習塾、企業の人材育成など)においては、知識(教科内容、マニュアルなど)の習得支援と同時に、ジェネリックスキルなどの文脈に依存しないスキルの習得を支援することが期待されている。

本研究課題では、ジェネリックスキルの一つに挙げられる学び方の学び(Learning how to learn)の支援を目指す。経験から自律的に学ぶ習慣を身に付けるための教材・学習環境・手法を、人間の認知・心理特性に基づき開発する。これらを実践の場で利用し、効果を実証する。



経験の積み重ねから知識を構築するプロセスに応じたスキル。このプロセスは、経験学習(Experiential learning)と称され、経験(経験力)、経験の内省(省察力)、経験の概念化(思考力)、概念を次に活かす計画立て(実行力)の四つのステップから構成される(括弧内は対応するスキル)。

今後の 展開や メッセージ

今後は、それぞれのスキルに応じた教材・学習環境・手法の開発・効果検証を続けるとともに、それらを統合した学習モデルを構築していきます。さらに、構築した学習モデルに基づく学習空間を創出していきたいと思っています。ご興味ございましたら、お気軽にお問合せください。

研究者 情報



田中 孝治 准教授・博士(情報学)

情報フロンティア学部 心理科学科
所属研究所：感動デザイン工学研究所、
SDGs推進センター

関西大学総合情報学部総合情報学科卒。2002年ダイドードリンコ(株)入社。2007年大阪工業大学高等学校非常勤講師、関西大学リサーチ・アシスタント、2008年常翔学園高等学校非常勤講師。その間、関西大学大学院総合情報学研究科博士課程前期課程(知識情報学専攻)、博士課程後期課程(総合情報学専攻)修了。2010年同大学ポスト・ドクトラル・フェロー。2013年北陸先端科学技術大学院大学サービスサイエンス研究センター研究員、知識科学科助教、講師を経て、2018年本学講師就任。2021年現職。

研究者情報URL

<https://researchmap.jp/kjtanaka>